



KIN-BALL[®] sport NEWSLETTER

ご挨拶

一般社団法人日本キンボールスポーツ連盟 会長 高見 彰



2019年度は普及講習会やレフリー講習会をはじめ、9月にはジャパンオープンフレンドリーカップを三重県伊勢市で、11月にはチャンピオンズカップを初めて石川県金沢市で開催し、盛会のうちに閉会することができました。この場を借りて両県連盟、関係者の皆さまに御礼申し上げます。また、フランスで開催されたワールドカップで日本代表が男女とも銅メダルを獲得したことは、今後のキンボールスポーツの普及につながる成果といえます。代表選手、コーチングスタッフ、サポートスタッフの皆さんはもとより、スポンサー企業、クラウドファンディングなどによる多くの支援、声援をいただいた皆さまにも心より感謝とお礼を申し上げます。

昨年はラグビーワールドカップが開催され、日本選手の活躍で全国が沸き立ち、ラグビーに対する理解が進むとともにスポーツマンシップやグラウンド内外でスポーツの持つチカラを新たに学ぶ機会になりました。今年はいよいよオリンピック・パラリンピックが開催されます。磨き上げられたアスリートの極限の「強さ」「速さ」「美しさ」が世界中の人々を感動の渦に巻き込むことでしょう。

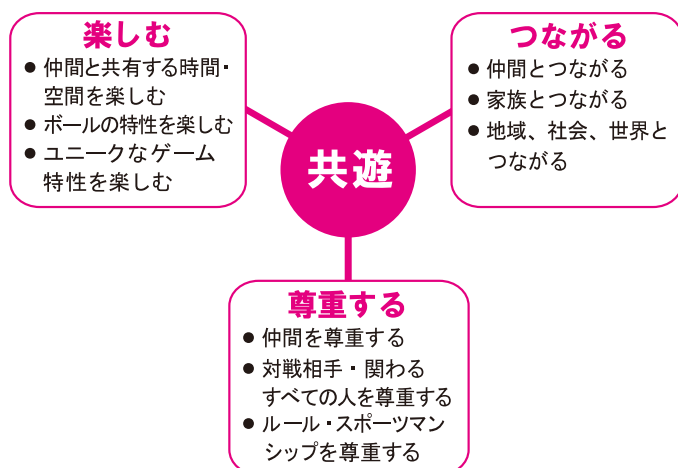
キンボールスポーツもこのビッグイベントの熱さに負けないう、全国各地で盛り上がりを見せていきたいと思っています。また、来年は国内外から愛好者が集うワールドマスターズゲームズが関西一円で開催されますが、キンボールスポーツも奈良県天理市で大会を開催いたします。大会期間のみならず準備期間も含め、全国の愛好者が「one team」となって大会成功に向け盛り上げていきましょう。

今年度日本キンボールスポーツ連盟は、次の10年を見据え、中長期目標を見直し、適正かつ合理的なガバナンスに努め、社会から信頼される組織へと発展すべく努力して参ります。社会にキンボールスポーツの魅力を伝えるべく情報発信力の強化、都道府県連盟の運営支援強化、アジア諸国をはじめとする海外諸国との連携を深め、世界からリスペクトされる選手、チームの育成。また、子どもや高齢者、いろいろな障害を持った方などが、性別、世代を超えて楽しめる生涯スポーツとしての普及をさらに進めていきたいと考えております。

役職員一丸となって、連盟に寄せられる内外の期待に応えていく決意です。改めて皆さまの一層のご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

キンボールスポーツ・ソーシャルビジョン

輝ける居場所がここにある!!



キンボールスポーツが人々の絆を深め、豊かな社会を創り出す

キンボールスポーツの魅力伝えるために連盟発足当時から長年使用してきた理念「共遊」「主体」「創造」ですが、社会の変化に対応し、次の時代にキンボールスポーツの存在意義を示すために理念を「キンボールスポーツ・ソーシャルビジョン」として再構築いたしました。

私たちがめざすキンボールスポーツのあるべき姿は、「キンボールスポーツが人々の絆を深め、豊かな社会を作り出す」ことにあります。私たちが取り組む一つ一つの活動が、関わるすべての人々の身体的、精神的、社会的なつながりを強固にし、それが豊かな地域社会を創り出すことにつながっていくという考えです。

そのような社会を創り出すために、私たちはキンボールスポーツの大きな特徴「共遊」をビジョンとして大切にしています。「共遊」とは「楽しむ」「つながる」「尊重する」という3つのキーワードで言い表すことができます。キンボールスポーツをプレーする中で、ゲーム自体を「楽しむ」ことは言うに及ばず、関わるすべての人を尊重し、仲間や家族との一体感、地域社会とのつながりを感じる楽しさをも共有していくことにあります。

愛好者の皆さんがボールに触れている時は、一人一人が主役になり、生き生きと輝くことができ、自分を認めてくれる仲間がいて、ずっとこの場に居続けたいという嬉しい気持ちでいっぱいだと思います。「輝ける居場所がここにある!!」というスローガンを掲げ、この素晴らしい場に一人でも多くの方に足を運んでもらえるよう努力していきたいと思っています。

私たちはこれらの理念、ビジョンを具体化するために中長期目標をたて、それをもとに年度計画をたてて「人々の絆を深め、豊かな社会づくり」を一步一步進めていきます。